

感動一点の場

『植物園』

1937年 小川原脩 画

爽やかな青空の下、植物たちが生き生きと、伸びやかな姿で描かれている。美校時代の作品とは違って変わって色調が明るくなった。この年、小川原は初めて銀座・資生堂ギャラリーで個展を開いた。このとき出品した作品は植物を主題とした、シュルレアリスム絵画だった。

苛酷なまで自己を追求する小川原の姿勢は、シュルレアリスム主義との出会いによって美校色を一蹴するような急激な変貌を遂げ、オリジナルな絵画スタイルへの再出発ともいえるものであった。天を突く植物にまわりつくような花、人間のような無数の花びらが絡み合っているようだ。透明感のある青の空間処理が際立っている。



緑が濃くなり、山肌の残雪と絶妙な色合いを醸し出しております。美術館と風土館では新しい展示が始まりました。お出かけください。

展覧会のお知らせ

常設展 小川原脩生誕100年記念「小川原脩 自伝的な展覧会 - 遙かなるイメージ -」開催中

小川原は自ら描いた絵を、自らの技法で、ひたすら自分自身のために描き続けてきた。70数年間の絵画人生を全うした小川原の作品を、時間を追って紹介します。北海道立近代美術館所蔵の「男と白鳥」「雪」「大北海道」「鳥」など4点は、小川原脩記念美術館初めての展示となります。

会期：6月2日（木）～8月21日（日）

風土館から「スミレの企画展」開催中

風土館で「スミレ」の企画展が開催中です。

道内外のスミレ、広く見られる種から、分布が極端に狭い保護種まで約50種の標本を展示中です。ぜひご覧ください。

また、下記の日程で風土館（北6東7）において講演会と報告会が開催されます。

どうかご来聴ください。

風土館講座（聴講は無料）

日 時：6月4日（土）午後3時～4時半

講 師：沼田絵美さん（後志教育研修センター）

演 題：マイマイ（かたつむり）の生物誌

イトウの繁殖の報告会を6月26日（日）に開催します。（入館料100円がかかります）

関連記事を6ページに掲載しています。

ミュージアム通信

小川原脩記念美術館

☎ 21-4141 FAX 21-4142

URL www.town.kutchan.hokkaido.jp/town/somoa/index.jsp

倶知安風土館

☎ 22-6631 FAX 22-6632

URL www.town.kutchan.hokkaido.jp/town/huudokan/huudokan.jsp

開館時間は9時～17時（入館は16時半）
6月の休館日 1、7、14、21、28日

フリーマーケットが開催されます！

日時 6月18日（土）10：00～14：00

場所 美術館・風土館前庭（雨天中止）

※出展者は当日現地集合

（芝生保護のため、レジャーシートは使えません。風通しの良い敷物をお願いします。）

木田金次郎美術館 ☎ 0135-63-2221

春の企画展 1

「木田金次郎の真骨頂 6月26日（日）まで

春の企画展 2

「木田金次郎 素描の世界」

会期：6月4日（土）～7月18日（月・祝）

初夏のナイトオープン

6月18日（土）18時から 参加費 1,000円

西村計雄記念美術館 ☎ 0135-72-2525

「西村計雄の 水辺の旅 展」開催中

第3回トライアート

「おとなの写生会～透明水彩で風景画」に挑戦！

6月18日（土）10時～12時 参加費 200円

荒井記念美術館 ☎ 0135-63-1111

企画展「恋と芸術の相似曲線」開催中

「恋人が変わる度に画風も変わっていく」ピカソの作品を展示

海と山と田園と - ミュージアムロード情報 -